

2023年 第1回 生物多様性の保全に向けたネットワーク会議

大阪からネイチャーポジティブ実現へ

~みんなで作る自然と共生する社会~

近年、大阪市に侵入した**侵略的 外来昆虫**の生態的特徴について

上田昇平 (大阪公立大学)

外来生物とは？

- ✦ 自然分布域外に人為的に導入された種
- ✦ 外来種の中で特に生物多様性を脅かすものを 侵略的外来種 と呼ぶ
(第6回生物多様性条約締約国会議 COP6、2002年)
- ✦ 日本国内には、脊椎動物：108種、
昆虫類：246種、維管束植物：1,553種の
国外外来種が 明治時代以降 に定着

侵略的外来アリ類

- ✦ 世界の侵略的外来種ワースト100 5種

アシナガキアリ、アルゼンチンアリ、
コカミアリ、ツヤオオズアリ、ヒアリ

- ✦ 日本の侵略的外来種ワースト100 1種

アルゼンチンアリ

- ✦ 特定外来生物（外来生物法） 9種

ハヤトゲフシアリ、アルゼンチンアリ
ヒアリ属の6種(交雑種含)、コカミアリ

大阪市に侵入した侵略的外来アリ3種



アルゼンチンアリ



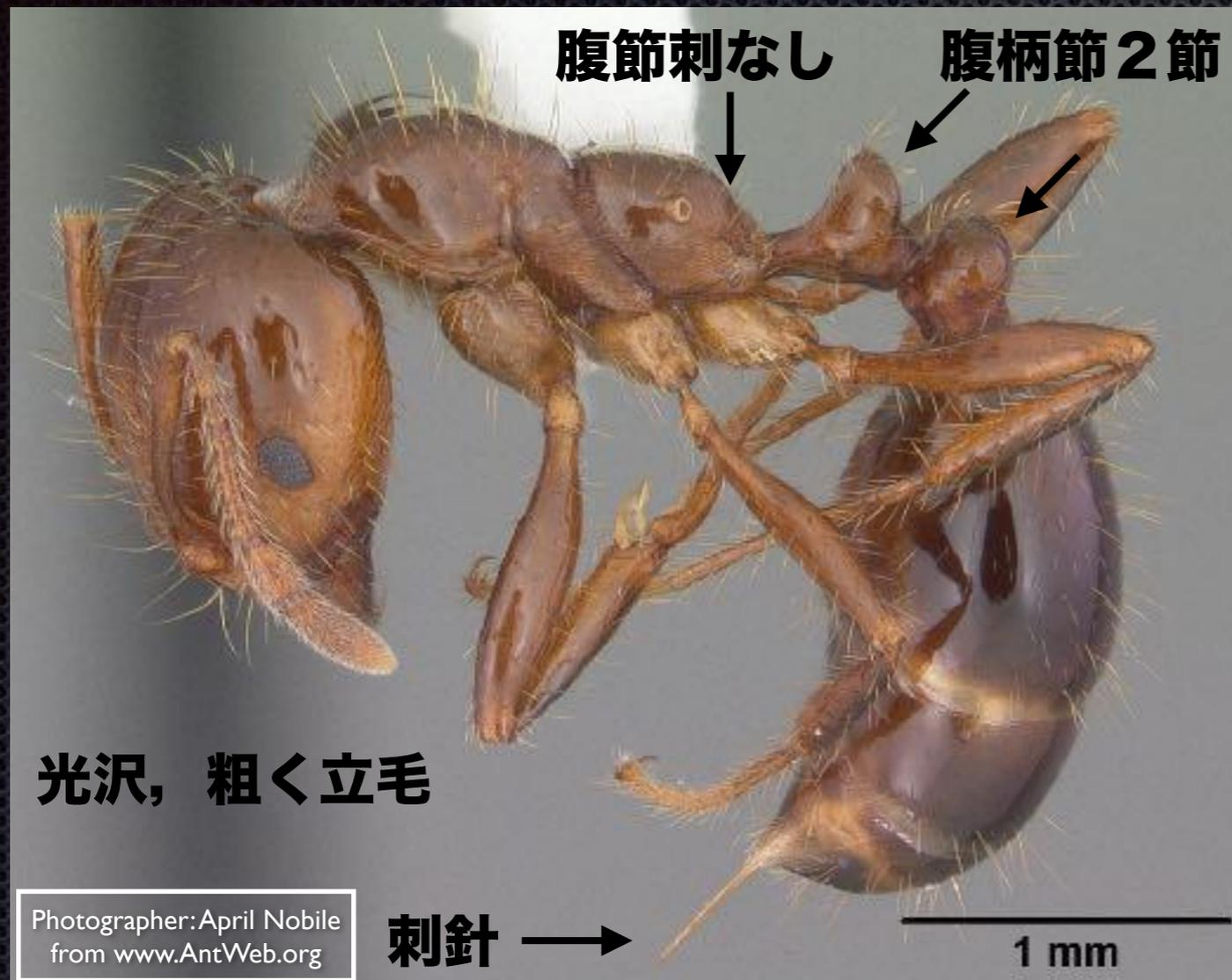
ヒアリ



ハヤトゲフシアリ



ヒアリ *Solenopsis invicta*



フタフシアリ亜科 トフシアリ属

原産地：アルゼンチンとブラジルの国境付近

ヒアリの**毒性**

ヒアリに刺されたときの症状

軽度

毒針で何回も刺す

アルカロイド系の毒

熱いと感じる激しい痛み

20-30分、体調変化に注意
多くは1ヶ月程度で治癒

中度

部分的・全身にじんましん

アレルギー反応の可能性
かならず病院を受診

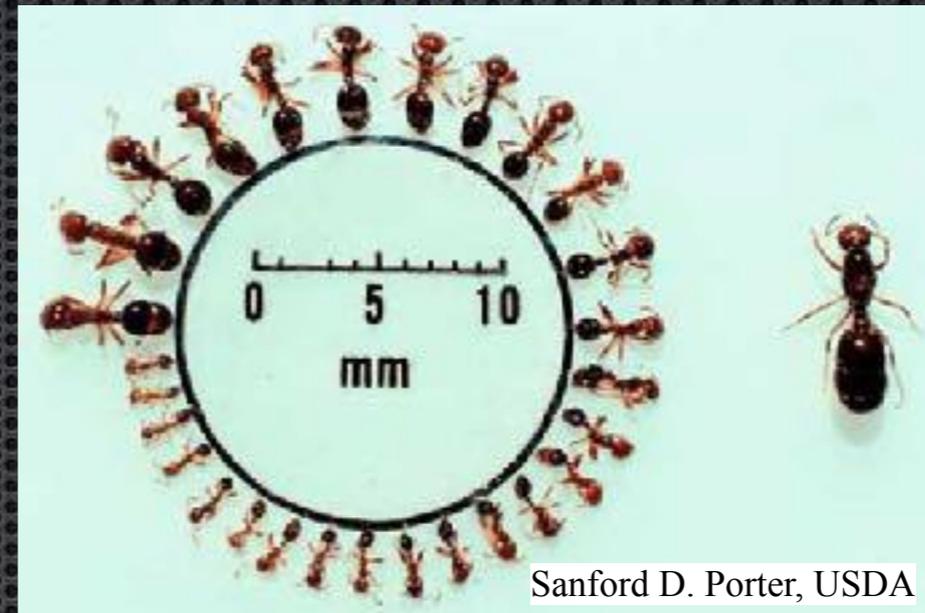
重度

呼吸器・循環器に障害
アナフィラキシーショック！

ステロイド剤の処方

危険性から**特定外来生物**に指定

ヒアリの生態

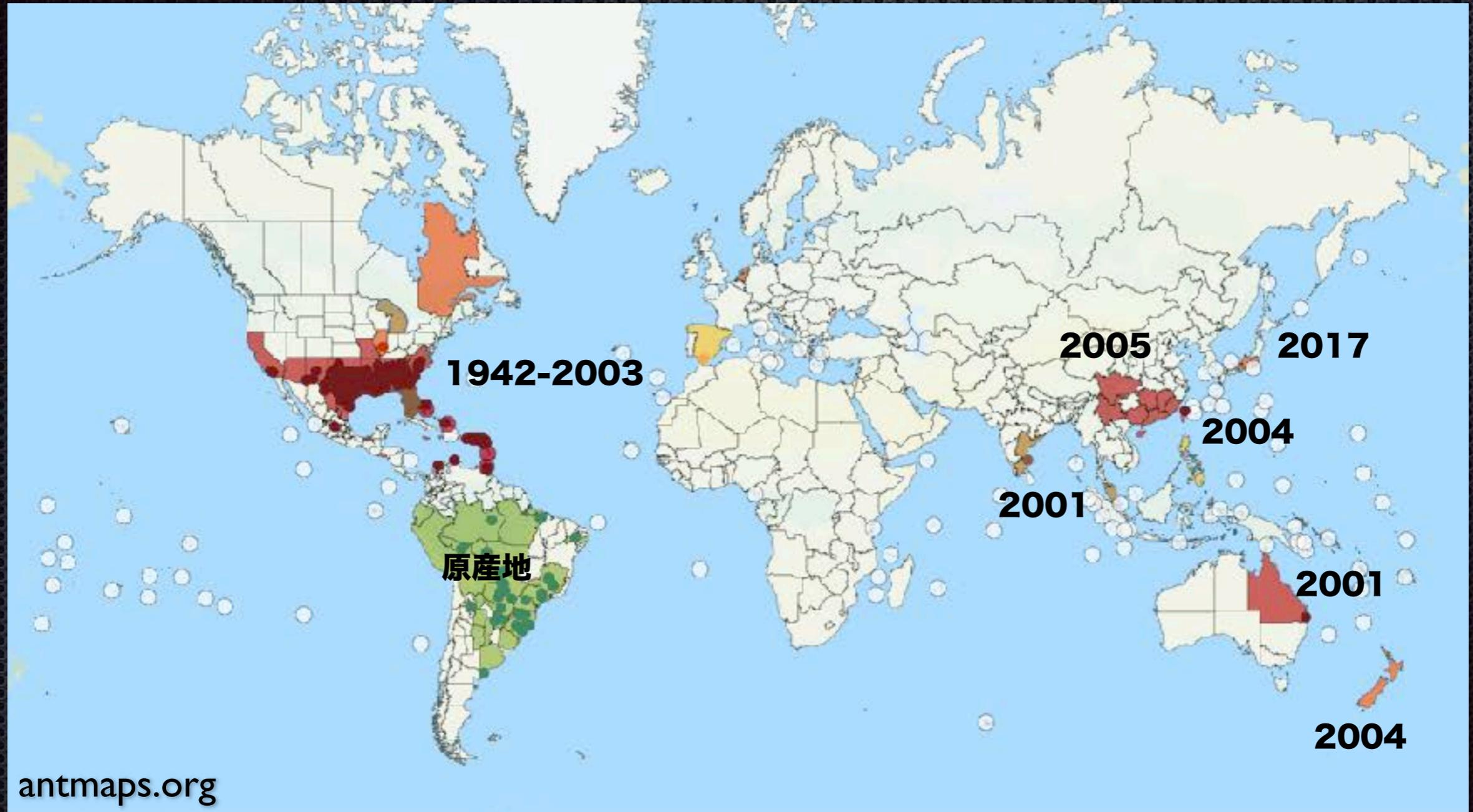


成熟コロニーは草地にアリ塚をつくる
働きアリのサイズが多様, 多女王

ヒアリの**巣**

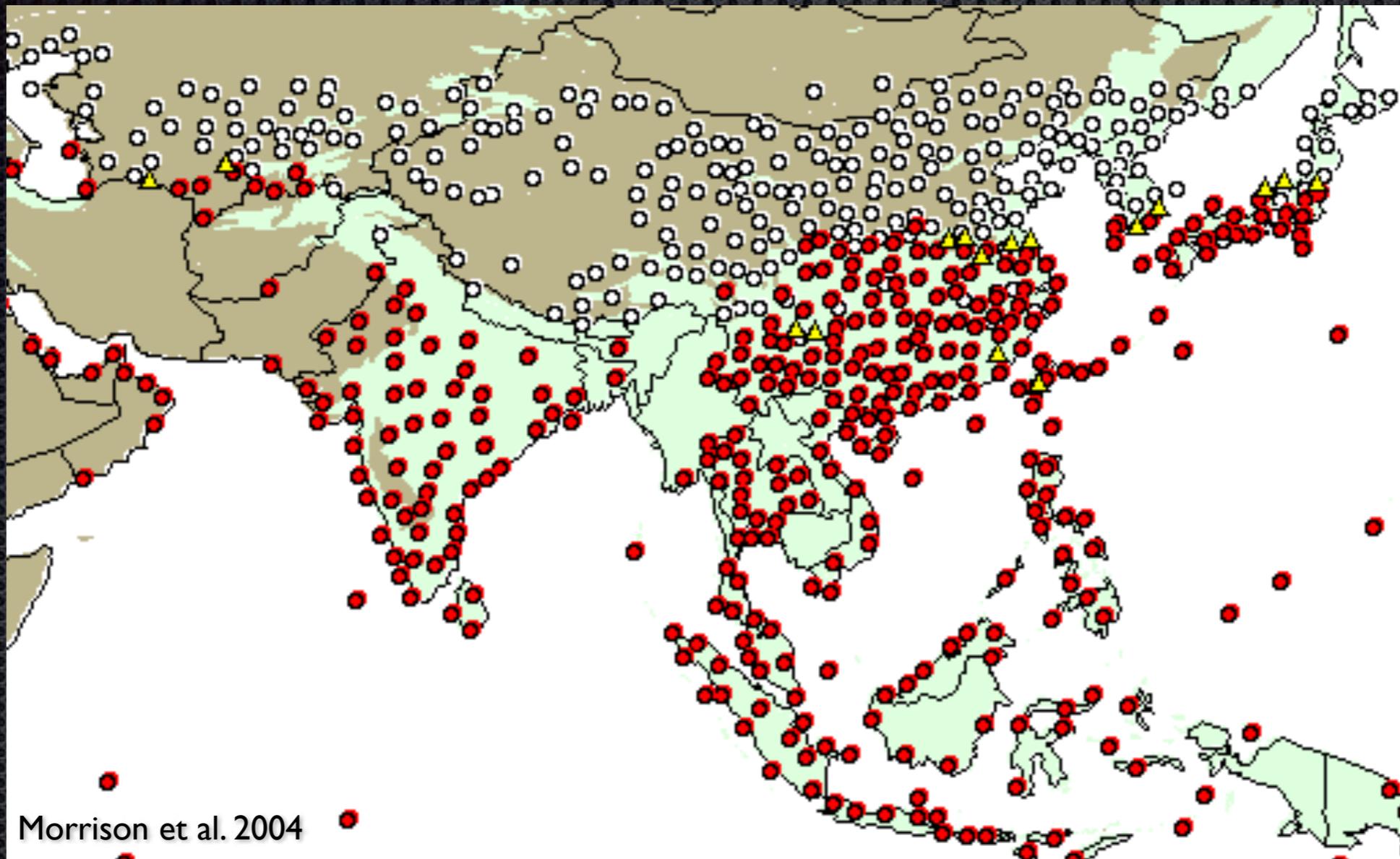


ヒアリの世界侵略



日本に侵入していなかったのは奇跡的

分布可能な地域 in アジア

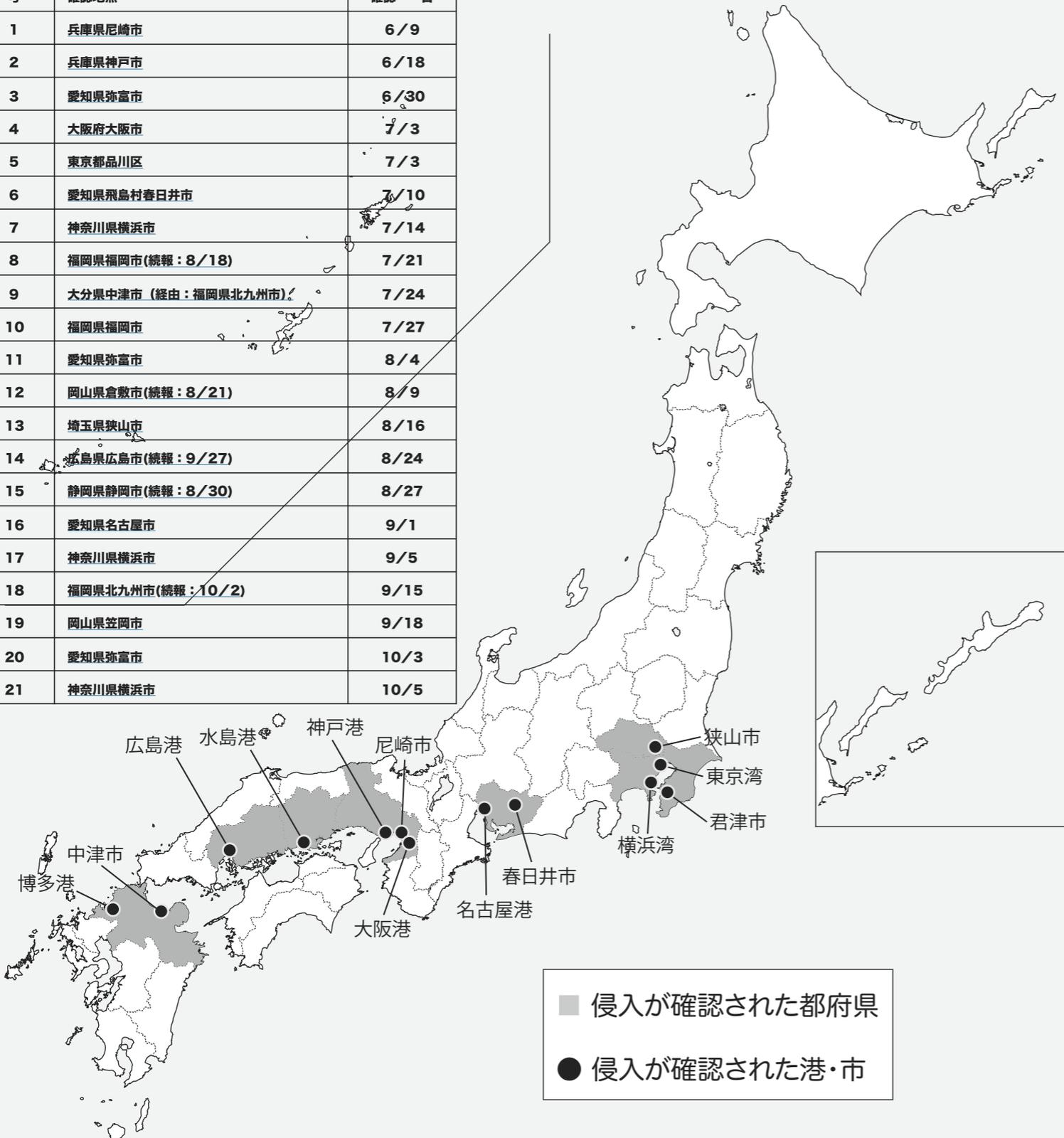


本州の関東以南に定着可能

コロナーが定着する前の防除が重要！

日本への侵入

号	確認地点	確認日
1	兵庫県尼崎市	6/9
2	兵庫県神戸市	6/18
3	愛知県弥富市	6/30
4	大阪府大阪市	7/3
5	東京都品川区	7/3
6	愛知県飛島村春日井市	7/10
7	神奈川県横浜市	7/14
8	福岡県福岡市(続報: 8/18)	7/21
9	大分県中津市(経由: 福岡県北九州市)	7/24
10	福岡県福岡市	7/27
11	愛知県弥富市	8/4
12	岡山県倉敷市(続報: 8/21)	8/9
13	埼玉県狭山市	8/16
14	広島県広島市(続報: 9/27)	8/24
15	静岡県静岡市(続報: 8/30)	8/27
16	愛知県名古屋市	9/1
17	神奈川県横浜市	9/5
18	福岡県北九州市(続報: 10/2)	9/15
19	岡山県笠岡市	9/18
20	愛知県弥富市	10/3
21	神奈川県横浜市	10/5



- 2017年6月9日
尼崎で初確認
- 国際港を中心に約
100事例が報告
- コンテナ内・港内
のみで発見
- 繁殖可能な成熟コ
ロニー未発見

現時点ではヒアリが
定着した可能性は低い 11

ヒアリの巣@大阪南港



創設初期の巣
女王：1匹
働きアリ：50-100匹



2017年7月3日 **舗装の亀裂**に巣を確認
殺虫剤を用いて完全に駆除

クビアカツヤカミキリ

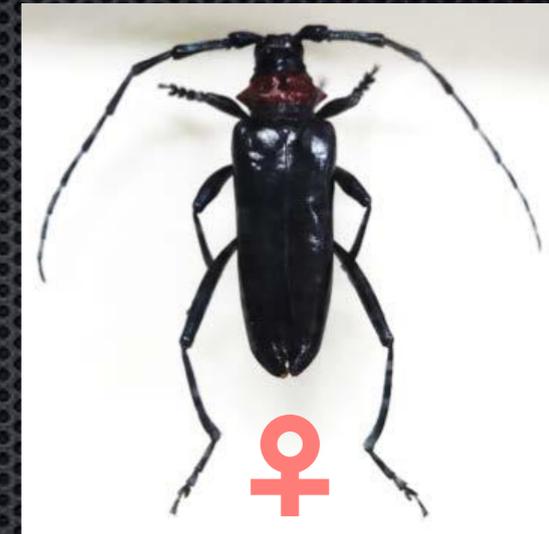


コウチュウ目 カミキリムシ科

原産地：中国，台湾，朝鮮半島，ベトナムなど

クビアカツヤカミキリとは

- 成虫の体長：2.8～3.7cm
- 形態的特徴：
からだ全体が黒く光沢がある
頭部の下が赤い（クビアカ）
成虫はジャコウ系の匂いを放つ



触角が長いのがオス

卵・幼虫での同定は困難



クビアカツヤカミキリとは

寄主：バラ科樹木

国内ではサクラ，ウメ，モモ，スモモで確認
クヌギの樹液を吸汁する成虫が目撃

食性：生きている樹木

幼虫は辺材部・形成層付近を食害
→通水組織が破壊され枯死



産卵数：生涯平均約350個、最大734個 (Ostojá-Starzewski 2017)

マツノマダラカミキリは59～184個 (Ochi.1969)

特定外来生物：平成30年1月15日指定

飼育，運搬，保管，輸入，野外への放出などを禁止

クビアカツヤカミキリの生活環

成虫：6～8月

産卵

幼虫の発育：4～10月



昼行性



10日程度で孵化



**摂食による
フラスの排出**

蛹から羽化脱出

発育の停止：11～3月



4月に幼虫は摂食を再開



株内で生育：1～3年？

日本への**侵入**状況

- ✦ 2012年 愛知県 サクラ・ウメ
- ✦ 2013年 埼玉県 サクラ・スモモ
- ✦ 2015年 群馬県 サクラ・モモ・スモモ・ウメ
- 東京都 サクラ
- 大阪府 サクラ・ウメ
- 徳島県 サクラ・モモ・スモモ・ウメ
- ✦ 2016年 栃木県 モモ・スモモ
- ✦ 2018年6月 大阪市内の都市公園でも確認
- ✦ 2022年までに、千葉県、群馬県、三重県、奈良県、和歌山県、兵庫県を含む13都府県で確認

大阪府内での発生確認



- ※ 2015年 大阪狭山市、堺市、富田林市で成虫発生
- ※ 2018年4月から堺市内100箇所の緑地公園のサクラ・ウメから特徴的なフラスが出ているかを調査

堺市でのクビアカ調査

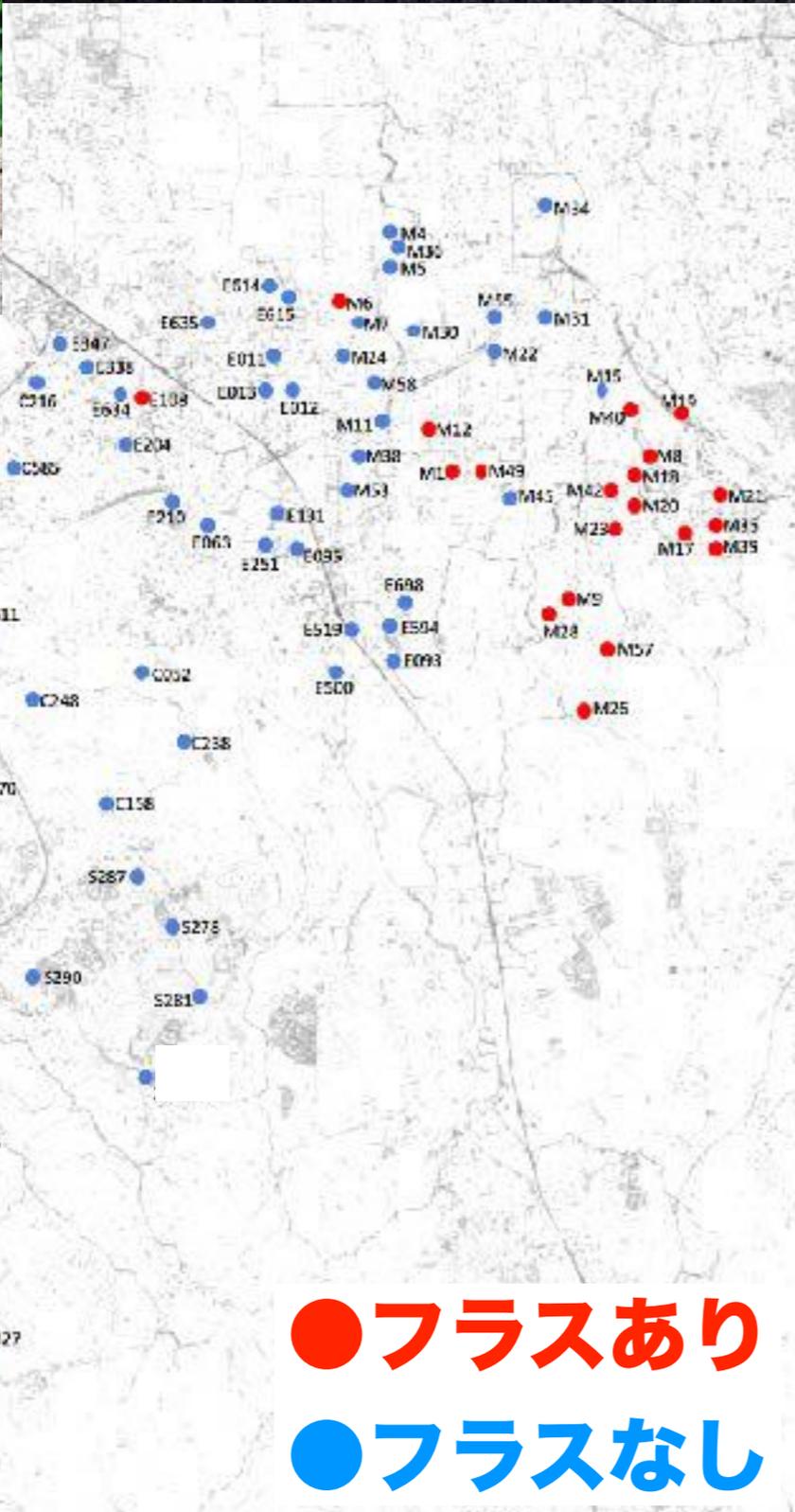


毎木調査でフラスと
脱出痕を確認



防風ネットを巻き付けて
成虫の分散防止→捕殺

堺市でのクビアカ分布域



- × トンネル内の幼虫：針金による刺殺，殺虫剤の処理（4-10月）
- × 枯死・衰退木の伐採・伐根内部の幼虫を退治するために破碎・焼却処分
- × 国内には大量のサクラが植栽、手間と費用が莫大になる前に封じ込めが必須

堺市でのとりくみ

BLACK HUNTER 2018

ブラックハンター2018
クビアカツヤカミキリを発見しよう!



写真を投稿しよう!

いきもの発見報告

堺いきもの情報館の「いきもの発見報告をする」ページで必要事項を入力して画像を投稿してください。



パソコン・スマホから
投稿してね!



- ◎きれいな写真の撮り方
- ・動物は目にピントを合わせましょう。
 - ・動物はじっとしていないのでたくさんシャッターを切りましょう。
 - ・動物の習性を知りましょう。知っておくことで効率よく撮影ができます。
 - ・晴れの日より曇りの日の方がいいでしょう。
 - ・お手持ちのカメラの機能を活かしましょう。(マクロ・接写・望遠・ISO感度等)

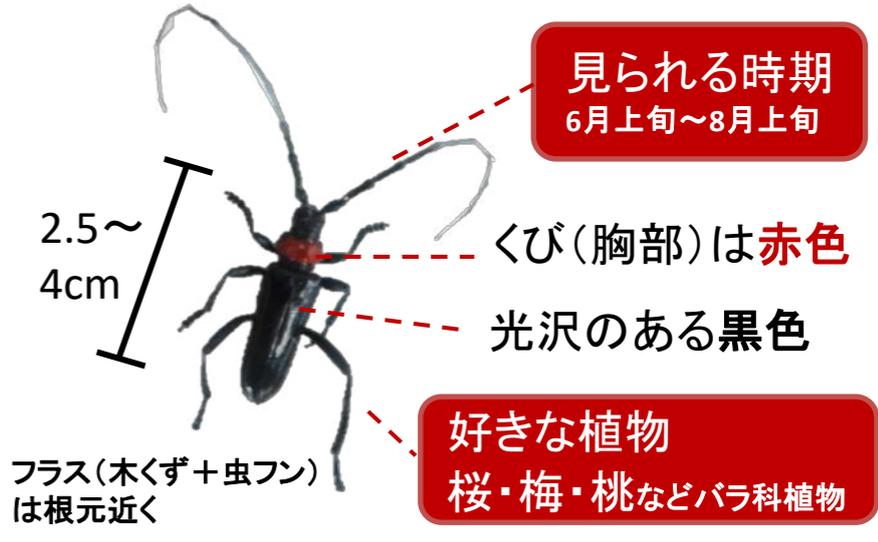
クビアカツヤカミキリを見つけて、写真投稿しよう!

平成30年1月に「特定外来生物」に指定されたクビアカツヤカミキリ。この幼虫は桜などの木の内部を食い荒らし、樹木を枯らせてしまいます! ——実は2年前、堺市でも初めて生息が確認されました… このままでは、桜の木が枯れてしまう恐れがあります! 桜を守るためにも、どうか皆さんの力を貸してください!

! 特定外来生物：生態系などに被害を及ぼす生き物です。
飼育や生きたままの運搬などが禁止されています!

CAUTION >> クビアカツヤカミキリ >> CAUTION >> CAUTION >> クビアカツヤカミキリ

見つけるポイント



>> クビアカツヤカミキリ >> CAUTION >> CAUTION >> クビアカツヤカミキリ >> CAUTION

・ **サイト「いきもの発見報告」**
で市民に写真投稿を募り、抽選で記念品を贈呈予定

・ **行政、研究者、市民が連携、**
防除に取り組んでいる

実施期間	平成30年6月1日(金)～平成30年8月31日(金) 8月上旬にウェブサイトにて中間発表を予定しています。
参加方法	クビアカツヤカミキリを見つけて写真撮影し、「いきもの発見報告」から写真投稿する。 ※可能な限り、見つけたクビアカツヤカミキリは捕殺してください!
対象区域	堺市内
対象者	どなたでも
プレゼント対象者	投稿いただいたサイトメンバーの中から抽選で20名 (いずれも該当者のみメールにて通知いたします)

早期発見・根絶プログラム

- ヒアリとクビアカツヤカミキリは輸入品に便乗して非意図的に日本に侵入・定着
- 刺傷被害、生態系の攪乱、農業害虫などの災厄を人間にもたらす。早期発見が重要。
- 分布範囲調査による防除エリアの決定が重要
集中的な捕殺と薬剤防除によって、根絶が可能？

日本の人と自然にとって大きな脅威となる

特定外来生物の防除は緊急の国家課題

一人一人の行動が大切です。
リストを知って、
次の3つを守りましょう!!

外来種被害予防三原則

1

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を

“入れない”

外来種問題を引き起こさするために、一番大切なことです。外来種を入れなければ問題は起きません。



2

飼育・栽培している
外来種を

“捨てない”

入れた外来種は、適切に管理（捨てない、逃がさない、放さない）しなければいけません。ペットや観葉植物は、最後まで管理する責任があります。



3

すでに野外にいる外来種を
他地域に

“拡げない”

すでに野外に定着してしまっている外来種は、まだ定着していない地域に拡げないことが大切です。これ以上問題を拡げてはいけません。

